

施政方針に対する 代表質問

定例会初日に示された市長の施政方針に対する「代表質問」は、3月3日と4日の2日間にわたり、各党派からの代表者7人により行われました。施政方針では、地域の活性化につながる、「明日のふるさと秦野の礎を築く」施策、「子育てがしやすく、誰もが安心して暮らせるまちの実現」など4本の柱からなる政策を今後4年間の市政運営の「道しるべ」として示しました。これを受け、これらの施策や市長の政治姿勢などに対する活発な議論が展開されました。
(質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載)



市政会 阿蘇 佳一

市の総借金847億円、未収金48億円 これでいいの

一 財政の健全化について

問 1人当たり、国900万円、県41万円、市50万円の借金だが、①スリムだけど温かい市政とは、②身を切る改革の実践は、③市有地の売却予定は、④知恵と工夫による経費削減は、どうか。⑤二宮尊徳の理念をどう生かすのか。

答 ①平成27年度までに職員40人の削減を目指す、全小・中学校への空調設備設置や高齢者の地域包括ケアシステムを進める。②市長給与を月額15%削減。③売却可能約33億円、26年度は4億円を予定。④民間の力を生かした事業、未収金対策、職員給与などの削減。⑤思想を学び新行革プランの実行。

二 都市基盤整備について

問 ①鶴巻温泉駅南口整備と北口

広場への手湯整備は、②ゲリラ豪雨対策は、③東海大学近道商店街の危険な坂道の対策は、どうか。

答 ①街路事業に約8億2000万円、広場周辺整備に約5億6000万円、立体横断施設および南口橋上改札口整備に約17億1000万円、平成29年度に完成の予定。26年度に手湯の整備、次に足湯と温泉スタンドに取り組み。②鶴巻温泉駅東側線路沿いの新川60以上の区間を2カ年かけ約3億3000万円で行う。③28年度の完成を目途にエスカレーターを設置する。

三 子育てと教育環境の充実について

問 ①いじめ・小学校30件、中学校62件、暴力行為・小学校23件、中学校83件の対策は、②67件の児童虐待への未然防止対策は、どうか。③子育て支援の目玉は何か。

答 ①低年齢化に対し、危機管理意識を高めて対応。②保護者の相談機能と親支援事業の充実。③保育コンシェルジュの設置など「子育てなら秦野が安心」に取り組み。



鶴巻温泉駅北口広場への手湯整備は



市政会 大野 祐司

将来を見据えた 笑顔あふれるまちの実現を目指して

一 市政に臨む基本方針について

問 前任期に当たる過去4年間のマニフェストの総括はどのようか。

答 マニフェスト検証・評価委員会において、全ての項目で成果があったと評価が高い。自身の振り返りでも、思い描いていたことにおおむね取り組めた。

問 予算編成過程の可視化が必要と考えるがどうか。

答 市民に分かりやすい情報提供という視点で研究を進めるが、当面は現行の公表方法を継続したい。

問 人口増加施策等による税収増対策が必要と考えるがどうか。

答 市民が本市に住み続けたいと思える施策や、企業が事業の拠点としたいと思ってもらえる施策が必要と考える。

二 本市の都市計画税は近隣市と比較が高いが、下げる予定はないか。

答 財政状況が厳しい中、都市基盤整備の進捗にも影響することから、現行税率を保持していく。

問 平成25年度に市庁舎の耐震診断を行ったが結果はどうか。

答 大震災において、倒壊または崩壊の危険性が高く、大変厳しい状態である。耐震改修を行い、長寿命化を図りたい。

二 教育問題について

問 施政方針でいう「教育委員会の独立性の尊重」とはどのようなものか。

答 教育委員会が教育の最終責任者としての役割を十分に果たし、教育行政の推進に努めることが重要であると考える。



新政クラブ 川口 薫

未来志向で秦野の発展を見据え 着実な事業の推進を図れ

一 平成26年度予算編成に臨む基本姿勢について

問 行財政改革の確実な実行、財政の健全化と持続可能性を意識した財政運営に努めるとあるが、財政調整基金の適正額の確保をどのように考えているのか。

答 適正額は、一般的に標準財政規模の5%から10%といわれており、本市は30億円程度を目安と考えている。伸び続けている社会保障関係経費や防災対策強化、市民生活に直結する生活道路の整備など、有効活用を図り今後も適正額の確保に努めたい。

二 総合計画後期基本計画及び関連諸計画の策定について

問 平成26年度に基礎調査を実施

するが、どのような内容か。また、各課などの関連諸計画の見直しについて、どう進めるのか。

答 人口動向調査などの結果を踏まえ、現在の基本計画に掲げている産業政策や、土地利用政策などを見直すとともに、子育て世代をターゲットとした新たな政策を立てるなど、人・物・産業を呼び込む、実効性のある計画となるよう準備を進めたい。総合計画は、本市の最上位計画に位置付けているため、福祉、環境、まちづくりなど、関連する各種計画も必要に応じて見直していきたい。

三 安心・安全なまちづくりについて

問 近年、市内の刑法犯の発生状況は減少傾向にあるが、凶悪犯罪の未解決事件や、振り込め詐欺事件が発生しており、市民は安心できない。防犯カメラの設置状況と今後の防犯対策はどうか。

答 防犯カメラの設置状況と今後の防犯対策はどうか。

た、東海大学前の交番移転の進捗状況はどうか。

答 各駅周辺や商店街などを中心に、現在98台の防犯カメラを設置・管理している。今後は、市民の安全な歩行空間と安心感が醸成される環境整備として、防犯灯のLED化を進めたい。また、交番移転は、地元自治会や商店会をはじめ、警察や県と協議を重ねており、地元意向を尊重することを基本に取り組んでいきたい。

問 子どもから高齢者まで幅広くスポーツ活動を広げる環境づくりを推進するため、本市独自の指針づくりが必要と考えるがどうか。

答 後期基本計画との整合性を図るなど、検討をしていきたい。

五 スマートインターチェンジ誘致に向けた取り組みについて

問 将来の秦野の発展のために、①スマートインターチェンジ誘致実現に向けた市長の意気込みはどうか。②秦野サービスエリア(仮称)周辺地域の活性化について、どのように考えているのか。③国道246号バイパスの見直しはどうか。

答 ①平成32年度末の新東名高速道路の開通に合わせ、スマートインターチェンジの同時開通を目指し、市長在任中に道筋を立てるべく全力を尽くしたい。②周辺土地利用構想は、平成26年度早期に策定していきたい。③国道246号バイパスは、国が新規事業採択時評価の手續きに着手したことから、大きく前進したと考えている。

そのほか、「企業誘致・流出防止策について」、「ものづくり産業の振興策について」、「公共施設再配置計画について」、「新東名高速道路へのスマートインターチェンジについて」、「英語教育について」などの質問をした。



住み続けたいと思える施策を



秦野サービスエリア(仮称)イメージ図

議会のうごき

○2月

- 14日(金) ・代表者会議・議員連絡会
- ・議会活性化特別委員会
- 24日(月) ・議会運営委員会
- 27日(木) ・市議会第1回定例会開会【傍聴者5人】
- ・代表者会議

○3月

- 3日(月) ・本会議(代表質問)【傍聴者33人】
- 4日(火) ・本会議(代表質問)【傍聴者17人】
- ・議会運営委員会
- 5日(水) ・本会議(議案審議)
- ・予算特別委員会
- 6日(木) ・本会議(一般質問)【傍聴者21人】
- ・総務常任委員会・都市建設常任委員会
- 7日(金) ・本会議(一般質問)【傍聴者13人】
- ・代表者会議
- 10日(月) ・文教福祉常任委員会【傍聴者5人】
- ・環境産業常任委員会【傍聴者1人】
- 12日(水) ・予算特別委員会(総務分科会)
- 14日(金) ・予算特別委員会(文教福祉分科会)
- 18日(火) ・予算特別委員会(環境産業分科会)【傍聴者1人】
- ・代表者会議
- 19日(水) ・予算特別委員会(都市建設分科会)【傍聴者1人】
- 24日(月) ・議会活性化特別委員会【傍聴者1人】
- 27日(木) ・議会運営委員会
- ・予算特別委員会【傍聴者2人】
- ・市議会第1回定例会閉会【傍聴者11人】
- ・議会運営委員会・議会報編集委員会
- 28日(金) ・秦野市伊勢原市環境衛生組合議会第1回定例会

○4月

- 16日(水) ・代表者会議・議員連絡会・議会活性化特別委員会
- 30日(水) ・議会報編集委員会